

早稲田大学 商学部
2016 年度 入試問題の訂正内容

<商学部 一般入試>

【日本史】

問題冊子 5 ページ： **3** 問 C

選択肢に正解として扱うことができるものが複数あったため、
そのいずれを選択した場合も得点を与えることといたします。

以上

2016年度
日本史
(問題)

〈H28103316〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/>	良い	<input type="radio"/>	悪い	<input type="radio"/>	悪い
マークを消す時	<input type="radio"/>	良い	<input type="radio"/>	悪い	<input type="radio"/>	悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒	万	千	百	十	一
	3	8	2	5	

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

1

次の文章を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

ここでは、古代の書物について考えてみよう。

古くは、大王の皇位継承を中心とした伝承や記録をまとめた **イ** や、古代の神話や伝承をまとめた **ロ** などをもとに、『古事記』が編纂されたと考えられている。口頭による伝承と文字による記録化が注目される。

一方で、中国との密接な関係を取り上げる必要がある。例えば、藤原京はその特異な形が注目されているが、その原因は『周礼』という中国の書物を手本として設計されたためであると推測されている。

また、奈良時代には、遣唐使により多くの書籍がもたらされ、日本に大きな影響を与えた。それは文学作品にも及び、『懐風藻』が編纂されて、大津皇子・大友皇子・長屋王らの詩が収められた。さらに、中国の影響を受けつつ、日本古来の歌を集めたのが『万葉集』である。これは素朴で力強い歌風を今に伝えているが、近年では、『万葉集』に収められた歌を記した木簡（歌木簡）が発見され注目を集めている。

平安時代初期には、『日本書紀』について、正史も継続的に編纂されるようになり、六国史と呼ばれた。これらの史書は、古代の歴史を知る上で、欠かせない重要な史料となっている。この時期には勅撰の漢詩集も編纂され、唐風文化の隆盛をもたらした。また、当時、漢詩文を得意とする文人貴族も輩出し、その一翼を担った。

平安時代中期になると、末法思想が流布し、人々の心を捉えた。**リ** は地獄や極楽を描いた『往生要集』を著して、浄土信仰を盛んにさせ、慶滋保胤も **ヌ** を著して、極楽往生を人々に勧めた。

さらに、この時期には、天皇や貴族が日記を記すようになった。**ル** が著した日記は自筆原本も残され、近年、ユネスコ記憶遺産に登録されたことはよく知られている。

問A 空欄イおよび空欄ロの組み合わせとして正しいものはどれか。

1. イ「旧辞」－ロ「帝紀」 2. イ「帝紀」－ロ『国記』 3. イ「帝紀」－ロ「旧辞」
4. イ「旧辞」－ロ『国記』 5. イ『国記』－ロ「旧辞」

問B 下線部ハについて述べた文として誤っているものはどれか。

1. 十条十坊から構成されていた。 2. 藤原宮は京の中央に設けられた。 3. ほぼ正方形の都であった。
4. 飛鳥の地に所在した。 5. 藤原宮は大和三山に囲まれていた。

問C 下線部ニに関連して、702年に派遣された際の遣唐執節使（最高責任者）は誰か。

1. 粟田真人 2. 山上憶良 3. 藤原宇合 4. 吉備真備 5. 玄昉

問D 下線部ホに関連して述べた文として誤っているものはどれか。

1. 大友皇子は天智天皇の子であった。 2. 大友皇子は大海人皇子と戦って敗れた。
3. 長屋王は謀反の疑いをかけられて自殺した。 4. 長屋王の邸宅は羅城門のすぐ近くに所在した。
5. 長屋王の妻は元明天皇の娘であった。

問E 下線部ヘに関連して述べた文として誤っているものはどれか。

1. 全20巻である。 2. 万葉仮名が用いられている。 3. 巻14には東歌が収められている。
4. 巻20などには防人歌が収められている。 5. 大伴旅人によって編纂された。

問F 下線部トについて、5番目に編纂された書名はどれか。

1. 『日本三代実録』 2. 『続日本紀』 3. 『日本文徳天皇実録』 4. 『続日本後紀』 5. 『日本後紀』

問G 下線部チに関連して、「意見封事十二箇条」を著した人物は誰か。

1. 三善清行 2. 都良香 3. 紀夏井 4. 源高明 5. 菅原道真

問H 空欄リに当てはまる人物は誰か。

1. 成尋 2. 遍昭 3. 奄然 4. 空也 5. 源信

問I 空欄ヌに当てはまる著作物は何か。

1. 『日本往生極楽記』 2. 『拾遺往生伝』 3. 『統本朝往生伝』 4. 『池亭記』 5. 『新猿楽記』

問J 空欄ルに当てはまる人物は誰か。

1. 宇多天皇 2. 村上天皇 3. 藤原実資 4. 藤原道長 5. 醍醐天皇

2 次の史料I・II・IIIとその解説文を読んで、下記の設問(A～J)に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

(史料I)

イ 元の如く柳営たるべきか、他所たるべきや否やの事、

(中略) なかんずく、イ 郡は、文治に右幕下はじめて武館を構へ、承久に義時朝臣天下を并吞す、武家においては、もっとも吉土と謂ふべきか、

政道の事、

(中略) 早く万人の愁を休むるの儀、すみやかに御沙汰あるべきか、その最要あらあら左に註す、

一、儉約を行はるべき事、

近日婆佐羅と号して、もっぱら過差を好み、(中略) 目を驚かさざるはなし、(中略) もっとも厳制あるべきか、

(中略)

一、諸国のホ 人、ことに政務の器用を択ばるべき事、

(中略) ホ 職は上古の吏務なり、国中の治否、ただこの職による、もっとも器用を補せられれば、撫民の儀に叶うべきか、(後略)

(史料II)

観応二年十一月

五日、天晴る、恵鎮上人来る、これに謁し、世上の事これを談ず、一昨日(中略) 南方の論旨二通、忠運隨身して相公(注)に与う、一通は勅免、一通は直義法師追討の事と云々、公家の事は一円南方御沙汰あるべし、武士の事は召し仕わるるの上は管領すべきの旨、勅許と云々、(後略)

(注) 相公：参議のこと。ここでは足利義詮を指す。

(史料III)

元弘一統の初めにたがわず、聖断を仰ぎ申さるべきの由、聞こしめしおわんぬ、もっとも以て神妙、この上はひとえに天下安全の道を存じ、無二の忠節を致さるべし(後略)

後醍醐天皇が開始した建武の新政は、多くの問題点を抱えていた。この状況をみた足利尊氏は中先代の乱を鎮めるために鎌倉に下ると、乱の収束後も後醍醐の上洛命令に従わず、建武政権に反旗をひるがえした。1336年、尊氏は京都をおさえ、持明院統の天皇を擁立すると、これからの政治の基本方針を示した。その一部が史料Iである。

後醍醐は京都を脱出すると、吉野に入った。以降、南北朝内乱が展開することになるが、軍事力からいえば、多くの武士を結集した尊氏・北朝が圧倒しており、北畠親房が東国から撤退すると、北朝の勝利は目前と思われた。ところが、足利氏内部に対立が起き、これを契機として南朝は勢力を盛り返す。

その一つの表れが史料II・IIIで、史料IIは、ある貴族が、尊氏・義詮父子の講和申し入れに対する、南朝の反応を書きとめた日記の一部である。史料IIIは、その日記に引用された南朝の天皇の論旨である。結局、武家方の抗争がおさまると一時的な講和は破れるが、南北朝の合一までには、なお40年を要した。

問A 空欄イに入る語句はどれか。

1. 鎌倉 2. 京都 3. 奈良 4. 室町 5. 六波羅

問B 下線部ロの人物についての説明として正しいものはどれか。

1. 保元の乱で死刑になった。 2. 福原に遷都した。 3. 平治の乱で敗死した。
4. 石橋山の戦いで敗れた。 5. 後白河法皇によって征夷大將軍に任ぜられた。

問C 次のa～dのうち、下線部ハ以前に起きた出来事が2つある。その組み合わせはどれか。

- a 源実朝が公暁に暗殺された。 b 幕府に評定衆が設置された。
c 藤原頼経が鎌倉に下向した。 d 幕府に引付が設置された。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd

問D 下線部ニは「ばさら」と読むが、「ばさら大名」として知られた近江の武士は誰か。

1. 楠木正成 2. 赤松円心 3. 細川頼之 4. 名和長年 5. 佐々木導誉

問E 空欄ホに入る語句はどれか。

1. 国司 2. 守護 3. 国地頭 4. 知行国主 5. 国守

問F 次のa～dのうち、下線部ヘに関連する説明として正しいものが2つある。その組み合わせはどれか。

- a 実子の直冬は中国地方で活躍した。 b 兄尊氏の執事である高師直と対立した。
c 兄尊氏との二頭政治で裁判・行政を担当した。 d 抗争に敗れて上洛し、京都で死去した。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd

問G 下線部トより以前に起きた出来事の説明として誤っているものはどれか。

1. 後醍醐天皇が親政をおこなった。 2. 北条貞時のもとで長崎高資が権勢をふるった。
3. 正中の変で、日野資朝が佐渡に流された。 4. 文保の和談で、両統迭立が提案された。
5. 元弘の変後、護良親王は吉野で挙兵した。

問H 下線部チに関する説明として正しいものはどれか。

1. 鎌倉幕府の武士も多く登用された。 2. 武士社会の慣習を尊重したため、貴族に不評だった。
3. 天皇への権限集中を目指し、院宣を重視した。 4. 訴訟処理のため、はじめて記録荘園券契所を設けた。
5. 足利尊氏の不満にこたえて、武者所の長官に起用した。

問I 下線部リ of 著作はどれか。

1. 『建武年中行事』 2. 『難太平記』 3. 『職原抄』 4. 『風姿花伝』 5. 『禁秘抄』

問J 次の文X・Y・Zは史料Ⅱ・Ⅲの内容について述べている。その正誤の組合せのうち、正しいものはどれか。

- X 南朝は武家方の講和申し入れを受け入れた。 Y 南朝は足利直義を一貫して支持した。
Z 武家方としては南朝が支配下に入ったという認識だった。

1. X-正 Y-正 Z-正 2. X-正 Y-正 Z-誤 3. X-正 Y-誤 Z-誤
4. X-正 Y-誤 Z-正 5. X-誤 Y-正 Z-誤

3 次の文とそれに関連する史料を読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

江戸幕府の初代将軍徳川家康は、16世紀末～17世紀初めの政治を担ったが、元和2年（1616）4月に亡くなったあとも江戸時代を通じて影響力を保ち続けた。駿河で最期のときを過ごした家康は、死を前にして次のように遺言したといわれる。すなわち、「久能山（駿河）に遺体を収め、（江戸）で葬式を行い、大樹寺（三河）に位牌を立て、一周忌を過ぎたころ（下野）にたましいを移すように。そこで関八州の守りになる」という。

その遺言にしたがって、家康は当初久能山に葬られ、翌年に改葬されるとともに、朝廷から神号が与えられることになった。その神号をめぐり、^ホ吉田神道にしたがって明神とするか、山王一実神道にしたがって権現とするかの論争があったが、徳川秀忠の決断で権現に決まった。へは、たましいだけでなく遺体もいっしょに移され、以後、家康は大権現として崇拜の対象となった。

の家康靈廟は社と呼ばれたが、正保2年（1645）、それを宮に格上げしたのは、自ら何度も参詣した徳川家光である。翌年家光は、朝廷から神宮へ供物を捧げる使者である奉幣使を復活させる（戦国時代以来、中断していた）とともに、朝廷から宮への奉幣使派遣を実現し、宮を権威づけた。以後、両神社への奉幣使は恒例となり、例幣使と称された。

将軍自らへ参詣したのは、家光だけではない。二代、四代、八代、十代、十二代の将軍が実施している。将軍のへの参詣は、徳川将軍家の祭祀という意味のほか、将軍が軍事の最高指揮者であるという武家の威光を示す機会でもあった。その道中には、幕閣・大名・旗本・御家人が多数従う巨大な行列が出現したからである。下の史料は享保13年（1728）4月の将軍のへの参詣にあたって、その1か月前に幕府から道中の町屋へ触れられた命令である。17世紀中後期以降、江戸時代の日本では幕府が大名に軍役を発動して行った軍事衝突が幕末までなかったことは確かだが、それは武家の棟梁である将軍を最高責任者とした軍事政権のもとでの「平和」であった。

（史料）

一 御道筋町屋前、水手桶拾間に一つ宛さしおき、^又盛砂もいたすべく候事、

（中略）

一 御道筋町家男女の儀、上野、御成りの節の格に相心得、男の分は家内土間にまかりあり、女の分は見世にまかりあるべく候、随分不作法にこれなき様にいたすべく候事、

問A 下線部イに関連して、徳川家康存命中の出来事はどれか。

1. シャクシャインの戦い
2. 長崎出島の建設
3. 一国一城令の発令
4. 紫衣事件
5. 平戸イギリス商館の閉鎖

問B 空欄口に入る寺はどれか。

1. 方広寺
2. 増上寺
3. 知恩院
4. 万福寺
5. 清浄光寺

問C 江戸時代より前の空欄ハは、修験道の修行場であった。修験道に関する説明として誤っているものを選び。

1. 修験道の宗教者を統制したのは土御門家である。
2. 修験道を担う宗教者は、修験者または山伏と呼ばれる。
3. 修験道には本山派・当山派という組織があった。
4. 天台宗・真言宗の密教の影響を受けた。
5. 戦国時代以前の一時期だけ流行した。

問D 下線部二に当てはまらない国はどこか。

1. 安房
2. 常陸
3. 武蔵
4. 上総
5. 伊豆

問E 江戸時代の下線部ホと吉田家に関する説明で、正しいものはどれか。

1. 吉田神道は両部神道として大成された。
2. 諸社禰宜神主法度は、吉田家による神職の組織化を促進した。
3. 吉田神道は本地垂迹説を唱えた。
4. 吉田家を神職の本所に定めた諸社禰宜神主法度は、朝廷から発布された。
5. 吉田神道は仏教や儒教とは習合しなかった。

問F 下線部ヘが行ったことではないものはどれか。

1. 末期養子の禁緩和
2. キリシタン禁制
3. 娘の天皇への入内
4. 大名の改易
5. 領知宛行状の発給

問G 空欄ト・チに入る語の組み合わせで、正しいものはどれか。

1. トー八幡 チー豊国
2. トー東照 チー伊勢
3. トー伊勢 チー東照
4. トー東照 チー豊国
5. トー八幡 チー伊勢

問H 江戸時代、幕府から大名に課された下線部に該当しないものはどれか。

1. 参勤交代
2. お手伝い普請
3. 將軍上洛への従事
4. 島原天草一揆を鎮めるための軍事動員
5. 朝鮮通信使の通行への人馬動員

問I 下線部ヌは貴人を迎える際の作法である。このときの貴人とは誰か。

1. 徳川家綱
2. 徳川綱吉
3. 徳川吉宗
4. 徳川家治
5. 徳川家慶

問J この文と史料に関連して、徳川將軍家の宗教に関する説明で正しいものはどれか。

1. ハの家康靈廟は、数寄屋造の代表的な建築物である。
2. ハの家康靈廟に、朝廷から供物を捧げる使者が送られたのは、幕末に限られた。
3. 幕府は江戸時代の人びとに、徳川將軍家が崇拝するト宮やチ神宮に参詣することを義務づけた。
4. ハの家康靈廟は、幕末に尊王論が高まってくると打ちこわしの対象となった。
5. 徳川將軍家は家康を神として崇拝するとともに、徳川將軍家の菩提寺への参詣も行った。

4 次の史料I～VIは、ある人物の自伝からの抜粋である。これを読んで、下記の設問(A～J)に答えよ。

(史料I)

条約改正の談判は為めに中絶したが、然^しかし政府が此の民間の連合軍に向って執^つたる軍略は、実に無法を極めたものである。(中略)人心^{きんごう}恟々として全国^{かたえ}実に鼎の沸くが如くに騒ぎ立った。

当時世界の最近世史に於てナポレオン三世のクーデターを圧制の模型として論難して居た予等は、今ま自国に於けるクーデターを親しく見たのであるから青年の熱血は満身に燃え上がった。『我等は速に憲法を握^つて仕舞わねばならぬ』『我等は速に国会へ代議士を送らねばならぬ』『否な、我等自ら速に代議士となって国会へ行かねばならぬ』『然り、我等は速に国会多数の勢力に拠^きりて民主党の内閣を組織せねばならぬ』——是れが^ま実に^ま教室に在^いっても、寄宿舎に在^いっても、下宿屋に在^いっても、寝ても醒めても、予等が唯一の談柄であった。

(史料II)

明治二十三年の冬、待ち設けられたる国会が始めて開かれようとする時、即ち民主政治の舞台の開幕が一日千秋^{おもい}の思で待ち構えられて居た時『教育勅語』が公布せられた。

学者の倫理学と云うものが手の裏返えすように一変した。政府は法律的に国民道徳なるものを強行するの方針を立てた。見よ、法律の外に制裁力無き無道徳時代には、道徳も亦た法律的権力を藉らねば其の威信を保つことがならぬのである。故に厳格の意味に於ては道徳では無いのだ。

(史料Ⅲ)

間もなく日清戦争が開かれた。予は戦争と云うことは基督教の反対するものだと云うことを毫も疑わなかった。然るに戦争の始まると共に、東京に在る知名の基督教徒は全国を遊説して『正義の戦争』を鼓吹し始めた。

(史料Ⅳ)

予は遂に一人の親友と相談して『普通選挙』の運動を開始する事となった。それが何時成就するかは元より予め知ることが出来ないが、民主政治の完全を期する為には、是非に普通選挙の実行に待たねばならぬ。

(史料Ⅴ)

予は上京以来多くの社会主義の友人を得た。予は遂に彼等と共に社会民主党の創立を経画することとなった。予が上京後第一に触れたのが足尾鉍毒問題であった。予はこの問題を調査して、資本家階級が政権を操縦して国民を荒廃する悲劇は、常に泰西列国のこのみで無く、既に既に日本国民頭上の緊急事件であることを知った。

(史料Ⅵ)

時勢は遂に日露戦争を破裂させた。戦争を讚美せざるものは人にして人に非るが如き輿論の狂熱の間に立ちて、予等少数の同志者は明白に非戦論を絶叫した。日清戦争の時を距ること早くも十年、確信を以て非戦論を唱道することの出来たのは予の感謝に余る所である。

問A 下線部イの「政府」の「軍略」に関連する記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 黒田清隆首相は、反対運動が高まったため井上馨外相を辞任させた。
2. 自由党員ないし旧自由党員が関係した事件を相次いで弾圧した。
3. 条例を公布して治安を妨害する恐れがあるものを東京から追放した。
4. 大々的な選挙干渉をおこなって、政府支持者の当選をはかろうとした。
5. 一定の生業をもたず粗暴の言論・行為を行なう者などを弾圧する法律を定めた。

問B 下線部イの「民間の連合軍」に関連する記述として正しいものを2つマークせよ。

1. 「民間の連合軍」は、自由党と立憲改進黨の提携によって成立した。
2. 立憲改進黨の党首だった大隈重信は、当時、同党を離党していた。
3. 「民間の連合軍」は、外交問題とあわせて地租軽減・国会早期開設を要求した。
4. 「民間の連合軍」の運動は、板垣退助を中心に展開された。
5. 当時、運動の再結集をはかろうとする大同団結論が唱えられていた。

問C 下線部ロに関連して、史料の筆者は、当時、東京専門学校（現慶応義塾大学）の学生であった。同校に関する記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 東京・京都の両帝国大学に続いて開校された。
2. 参議大隈重信らが開校し、政治・法律の教育を中心とした。
3. 立憲改進黨の党首大隈重信が最初の校長となった。
4. 「学問の独立」を掲げて自由主義的な教育をおこなった。
5. 後に学校令により正式に早稲田大学として認可された。

問D 下線部ハに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 第一次伊藤博文内閣の時に定められた。
2. 「御真影」とともに各学校に配布された。
3. 祝日の儀式の時、校長などによって奉読された。
4. 奉拝の式で拝礼しなかったとして内村鑑三が辞職に追い込まれた。
5. 第二次世界大戦後、衆参両議院で失効が決議された。

問E 下線部ニに関連する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 清国は天津条約の取り決めにもとづき、朝鮮への出兵を日本に通告した。
2. 朝鮮の農民蜂起を鎮圧するため、日本は朝鮮政府の要請により出兵した。
3. 日本は清国に対して、朝鮮の内政改革に共同してあたることを提案した。
4. 日本の内政改革要求を朝鮮政府が拒んだことを理由に、日本軍は朝鮮王宮を占領した。
5. 清国が朝鮮の「独立」をさまたげているとして、日本は清国に宣戦した。

問F 下線部ホに関連する記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 第一次世界大戦後、普選運動が労働組合・農民組合を中心に盛り上がった。
2. 初めての本格的な政党内閣の時、普通選挙の制度が実現した。
3. 衆議院議員選挙法の改正により、満20歳以上の男性の普通選挙が実現した。
4. 普選運動に続いて、女性の参政権を求める運動が本格化した。
5. 普選運動の高まりによって護憲三派内閣が成立した。

問G 下線部ヘに関する記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 治安警察法によって解散させられた。
2. 義和団事件の際の出兵に反対した。
3. 中江兆民・高野房太郎らが結成に参加した。
4. 労働運動の組織化に取り組んだ。
5. 結社を禁止されたため社会主義研究会を組織した。

問H 下線部トに関する記述として正しいものを2つマークせよ。

1. 古河市兵衛が経営する銅山から流出した鉱毒が渡良瀬川流域を汚染した。
2. 鉱毒が発生したため、渡良瀬川流域の農民は集団離村を余儀なくされた。
3. 田中正造は天皇への直訴とあわせて、議会で政府に足尾銅山の操業停止を要求した。
4. 政府は足尾銅山に鉱毒予防を命じ、一時、操業を停止させた。
5. 日露戦後、政府は谷中村を廃村にした。

問I 下線部チに関連する記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 『万朝報』が開戦論に転じたため、内村鑑三・幸徳秋水らは万朝報社を退社した。
2. 内村鑑三・幸徳秋水らは『平民新聞』を発行して非戦論を主張した。
3. 国民協会などの対外硬派は対露強硬論と開戦論を主張した。
4. 日露戦争の開戦によって非戦論は沈黙を余儀なくされた。
5. 日露戦争に際し非戦論を主張した平民社は、戦後、日本社会党へと発展した。

問J 社会運動家・小説家として知られるこの史料の筆者は誰か。該当する人名を1つマークせよ。

1. 安部磯雄
2. 片山潜
3. 北村透谷
4. 木下尚江
5. 堺利彦

次の文章Ⅰ・Ⅱを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

Ⅰ 後発国日本の工業化にとって、市場の発達に不可欠な制度や企業の成長に必要な経済基盤を、政府主導で整備していくことは重要な条件となった。

市場の前提となる商品や貨幣の所有権はすでに江戸時代に認められていたが、所有権が不明確であった土地については、土地売買そのものに対する規制などを撤廃した上で、地租改正を実施し、その所有権を確定させた。

商品交換を媒介する通貨のシステムについては、江戸時代の東西分断的な通貨制度に代わる統一的で安定した制度の確立が目指された。政府は1871年に新貨条例を制定し、金本位制の方向を示した。しかしその後も、銀貨鑄造や政府不換紙幣の発行などが行われたためにかえって通貨制度の混乱を招いた。この混乱は松方財政の下で日本銀行を中心に銀本位制が確立されるまで続いた。

企業に成長資金を供給する金融システムの整備は、1872年の国立銀行条例の公布などから着手されたが、この条例は資金供給よりも通貨制度の確立を重視しており、また設立条件が厳しかったため、設立銀行数もわずか4行にとどまった。しかし、1876年に同条例が改正されると、国立銀行の設立は激増して約150行もの銀行数を数えるに至り、各地域で資金供給に一定の役割を果たすようになった。

運輸、通信インフラの整備も政府の力あるいは民間の活力を利用する形で進められた。例えば、電信については、早くも1870年代に国内の主要な都市間に電信線が架設され、郵便とは桁違いの速度で商業などに関する情報が入手できるようになった。鉄道では、政治的、軍事的目的が強い開港場路線の敷設が先行し、経済的役割の大きい東京・大阪間などの路線建設は遅れたため、当初、商品輸送で主要な役割を担ったのは海運であった。日本の海運業者は、政府の援助の下で外国汽船から国内主要航路を奪回し、さらに海外航路に進出していった。

これらの工業化を促す制度、組織の成立を承けて、1880年代後半に日本は第一次企業勃興期を迎え、産業革命の進展と本格的な資本主義社会の構築に向かっていくことになる。

問A 下線部イに関連する記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 農地については作付けなどの利用制限が設けられた。
2. 高額な地租によって小作農家の家計は圧迫された。
3. 農産物価格の上昇期には地租の実質負担は軽減された。
4. 地租は各年の豊凶に応じて調整された。
5. 地価は個々の農地の収益に基づいて厳密に算定された。

問B 下線部ロに関連する記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 増税による歳入増加と軍事費の削減による歳出の圧縮を徹底的に行った。
2. 赤字経営が多かった官営工場を払い下げる方針を定めた。
3. 中央銀行である日本銀行設立と同時に銀兌換銀行券が発行された。
4. 日露戦後になると、通貨制度は先進国と同じ金本位に再び切りかえられた。
5. デフレが進んだために、土地を失って自作農から小作農に転落する者が現れた。

問C 下線部ハに関連して、明治期の銀行についての記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 日銀券が流通し始めたため、政府は銀行券発行権を国立銀行から取り上げた。
2. 国立銀行は商人・地主・士族などが政府との共同出資で設立した。
3. 日本勸業銀行、日本興業銀行など特定分野に資金を供給する特殊銀行も設立された。
4. 1876年の条例改正で銀行券の正貨兌換が義務づけられ、国立銀行の信用が高まった。
5. 三井・鴻池などの旧両替商は、産業革命期までは銀行業進出に消極的であった。

問D 下線部二に関連して、明治期日本の通信インフラについての記述として正しいものを1つマークせよ。

1. 電信線が最初に設置されたのは東京・大坂間であった。
2. 早くも1870年代に欧米とリンクする国際的な電信網に組み込まれた。
3. 日清戦後、軍事利用のために電話が初めて輸入された。
4. 飛脚に代わり郵便制度が導入されたが、日清戦後まで地域間で料金が大きく異なっていた。
5. 前島密の建議に基づき郵便制度導入と同時に万国郵便連合条約に加盟した。

問E 下線部二に関連して、明治期日本の運輸業についての記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. 政府の保護の下で成功した日本鉄道会社は、鉄道会社設立ブームのきっかけとなった。
2. 政府の海運奨励策の下、1890年代に日本郵船会社はボンベイなど海外航路を開設した。
3. 1880年代末にはすでに民営鉄道の営業キロ数が官営鉄道を上回っていた。
4. 日露戦後、政府は軍事輸送などのために主要な民営鉄道線を買収し、国有化した。
5. 政府は当初、三井・三菱を手厚く保護し、国内、近海海運で外国汽船に対抗させた。

II 産業革命によって定着した近代的企業システムは、早くも1920年代には限界に直面することとなった。生産性や経営管理などの面で脆弱な企業体質が露呈し、不良債権問題が深刻化したのである。当時、財界の痛と呼ばれた震災手形問題も、最終的に **ホ** が引き受けた巨額の震災手形に、震災で決済不能となった手形だけでなく、体質改善の進まない企業の不良債務が大量に混入したために、その解決が困難となった。

不良債務の累積が日本経済を低迷させる中で、金本位制復帰による **へ** の安定を通じた貿易収支の改善に対する期待が高まっていった。しかし、不良債権を抱えた金融システムの不安定性は、この国家的な経済課題の達成にとっても大きな障害となっていた。

1927年、若槻内閣の片岡蔵相の失言を契機に始まった金融恐慌では、勅令による **ト** の救済に失敗し、全国的な **チ** 騒動と十五銀行など大銀行の休業という空前の信用不安を招いた。但し、恐慌をきっかけにかえて脆弱な金融機関の整理が進み、金融システムは安定化に向かった。

こうして金解禁の準備が整うと、浜口内閣の井上蔵相は1930年初頭に旧平価での金本位制復帰を断行した。旧平価解禁には、**a** に誘導することを通じて輸出品価格を **b** に設定し、生産性の低い企業を **c** するという意図があった。しかし、この金解禁政策は世界恐慌と重なったため、期待した経済効果を発揮することはできなかった。

問F 空欄ホに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問G 空欄へに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問H 空欄トに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問I 空欄チに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に記せ。

問J 下線部りの空欄 a～空欄 c に該当する語句の組み合わせとして正しいものを1つ選んでマークせよ。

1. a円安 b割安 c支援 2. a円高 b割安 c支援 3. a円安 b割安 c整理
4. a円高 b割高 c整理 5. a円安 b割高 c支援

6 次の文章を読んで、下記の設問（A～I）に答えよ。

1960年代後半以降、輸入よりも輸出が超過する状態が定着した日本経済は膨大な **a** をため込んでいたが、1985年9月の「プラザ合意」による急速な円高は、輸出型の産業に大きな打撃を与えた。輸出型産業を中心とする不況によ

り、国内の設備投資はあまり進まなかった。政府や日本銀行は、この不況に対処するため、**b** 主導型の経済を促し、公共投資の拡大や超**c** 政策を実行した。それらの結果生じた余剰資金の投資先に困っていた企業や銀行などの金融機関は、土地や株式を投機的に購入し、返済可能性が高くない企業にも積極的に資金の貸し付けを行った。こうして、不動産市場や株式市場に大量の資金が流れ込み、地価や株価が投機的に高騰するという、いわゆる**バブル経済**がしばらくの間、続いた。

バブル経済によって、資産や所得の格差が拡大したため、政府や日本銀行は、土地への融資の規制や金利の引き上げを行った。そのため、地価や株価は急激に下落し、投機を行った企業の一部が倒産し、借りの資金を返済できないという金融機関の不良債権問題が起こり、**実体経済の不況**に波及した。各企業は、この不況を乗り切るため、事業の整理や海外展開、また大量の人員削減を行った。政府による種々の規制やコスト高を嫌った企業は、主にアジア諸国に工場を移転し、そのことによって国内産業の一部が衰退するといった、産業の**d** 現象が起こり、日本企業の多国籍化が急速に進んだ。また政治的に見ると、バブル経済の頃は汚職事件が頻繁に起こり、**内閣が次々に代わった**。

問A 空欄aに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問B 空欄bに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記せ。

問C 空欄cに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字3字で記せ。

問D 空欄dに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字3字で記せ。

問E 下線部イに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. この合意は、第一次中曽根内閣の時になされた。
2. この合意に関する会議の参加国は、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツであった。
3. この合意の名称は、会場となったニューヨークのホテルの名前にちなんでいる。
4. この合意の2年後には、イタリア、カナダが会議に加わった。
5. この合意の直前には1ドル=240円台だったが、1年後には1ドル=150円台に上昇した。

問F 下線部ロに関する記述として誤っているものを1つマークせよ。

1. この間に、日米の貿易摩擦解消のため、日米構造協議が開催された。
2. この間に、政治家や官僚などへ未公開株を譲渡したリクルート事件が起こった。
3. この間に、日本の政府開発援助（ODA）が初めて世界第一位となった。
4. この間に、牛肉・オレンジの輸入自由化に関する日米の最終合意が得られた。
5. この間に、日米半導体協定が廃止された。

問G 下線部ハに関して、後に何と呼ばれるようになったのかについて、もっとも適当なものを1つマークせよ。

1. IT不況
2. 円高不況
3. 複合不況
4. 証券不況
5. 構造不況

問H 下線部ニについて、企業が大量の人員削減を行った結果、その後の日本経済にどのような影響を与えたのかを、記述解答用紙の解答欄に30字以内で記せ。なお、句読点も1字として数えよ。

問I 下線部ホに関して、この頃の内閣の時系列順序として正しいものを1つマークせよ。

1. 中曽根—竹下—宇野—宮沢—海部
2. 中曽根—竹下—海部—宇野—宮沢
3. 中曽根—竹下—宮沢—宇野—海部
4. 中曽根—竹下—宇野—海部—宮沢
5. 中曽根—竹下—海部—宮沢—宇野

[以下余白]

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定の欄以外に番号・氏名を書いてはならない。
 番号・氏名は左右の両欄に記入すること。
 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで所定の解答欄に記入すること。

日本史

記述解答用紙

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定の欄以外に番号・氏名を書いてはならない。

日本史

(この欄には解答を書かないこと)

採点欄

5

F	
G	
H	
I	

6

A	
B	
C	
D	

H

1

Blank box for marking

2

Blank box for marking

3

Blank box for marking